

情報交換・交流会の報告

鳥取県、鳥取大学、伯耆町で開発された「とっとり方式認知症予防プログラム」の概要を紹介しました。「運動」「座学」「知的活動」からなるプログラムで、その中から知的活動を、普段の活動に取り入れやすい方法で紹介しグループに分かれ体験をしました。グループ対抗でのゲームではとても盛り上がりました。

後半の、参加者同士の情報交換では、他のグループの話に熱心に耳を傾ける様子や、自身のグループで実施している遊びについて、写真や用具を準備して紹介している姿も見られました。

プログラム① とっとり方式認知症予防プログラム～知的活動の紹介～

お金をかけなくても準備出来る「ペットボトルのふた」「割りばし」「新聞紙」を使って行う「作業記憶を使う知的活動」「判断力を使う知的活動」の2種類の知的活動を体験しました。



プログラム② 情報交換「遊び・レクについて」

日頃の活動の様子を「等話」（平等な会話、誰かが一方的に話すのではなく、問いかけあう会話）を意識して、情報交換しました。参考になる話がたくさん聞けた、地域によって活動に違いがことを初めて知った、コーヒータイトムが楽しみとの話を聞き参考にしたい、などの感想が聞かれました。

